

NDSC10周年記念シンポジウム (Arcachon, France) の紹介

オゾン研究連絡会世話人一同 (*)

1. はじめに

オゾン研究連絡会では関連する国際ワークショップ・シンポジウムの簡単な紹介を不定期に行っていきたくと考えています。第1回目は標記シンポジウムです。

2. シンポジウムの内容

オゾン層の破壊に代表される成層圏大気微量成分の変化を、地上遠隔計測等によって総合的かつ長期に観測するための国際的なネットワーク、すなわち「Network for the Detection of Stratospheric Change (NDSC)」(成層圏変化検出のためのネットワーク)は、1986年に提案され、1991年に発足しました。その10周年を記念すると共に、蓄積されたデータの利用を促進する契機とするべく、本年9月24日から27日にかけてNDSC 2001シンポジウムがフランスのArcachon (ボルドーの郊外) で開催されます。

このシンポジウムは、大きく分けて以下の7つのトピックスから構成される予定です。

1. Global Ozone : Trends and Variability
2. Polar Ozone Loss
3. Ozone-Related Chemical Species : Distribution and Trends
4. Dynamics and Climate-Related Studies

(*)

笠井康子 Kasai Yasuko, 通信総合研究所・SMILESグループ。

川上修司 Kawakami Shuji, 宇宙開発事業団・地球観測利用研究センター。

河本 望 Kawamoto Nozomi, 宇宙開発事業団・地球観測利用研究センター。

杉田考史 Sugita Takafumi, 国立環境研究所・成層圏オゾン層変動研究プロジェクト。

村田 功 Murata Isao, 東北大学大学院理学研究科。

© 2001 日本気象学会

5. Coupling between Stratospheric Change and Surface UV

6. Satellite Calibration and Validation

7. Prospects : New Algorithms and Analysis Methods, Instruments, and Sites

なお、シンポジウムの詳細 (プログラム等) については、下記の Web サイトをご参照下さい。

<http://www.observ.u-bordeaux.fr/public/ndsc.symp/>

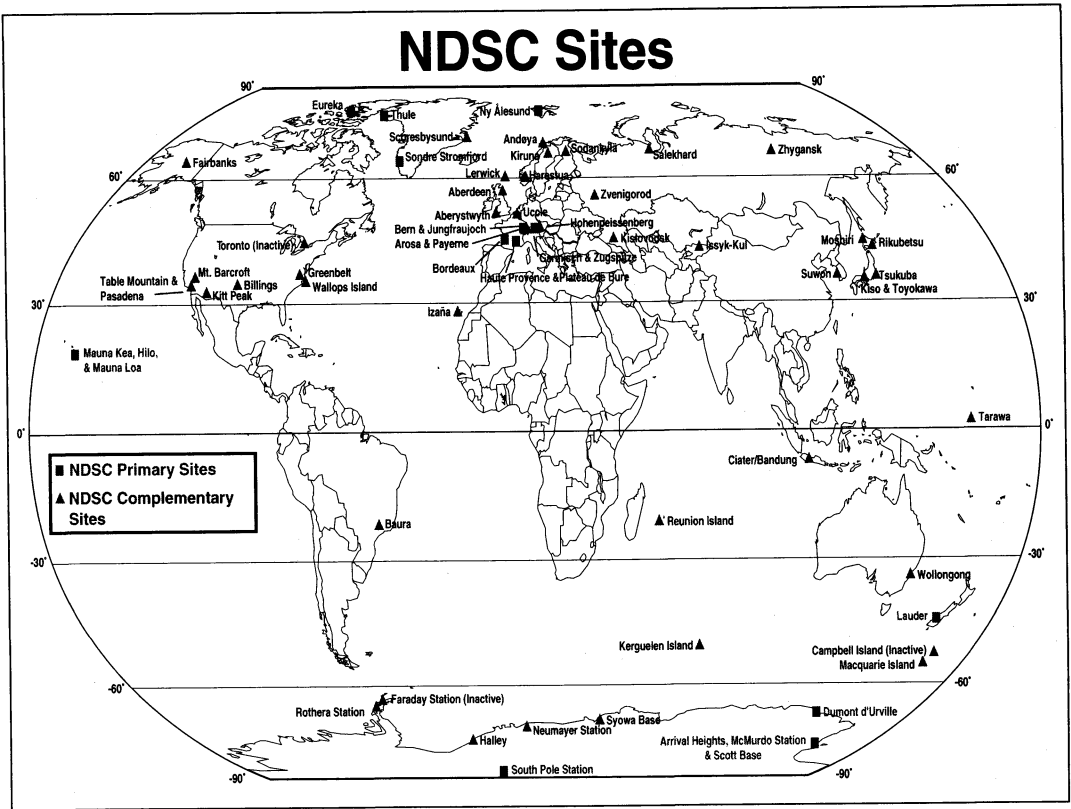
3. NDSC の現状

このNDSCについて、若干の紹介をしたいと思います。NDSCの測定サイトは、第1図に示されるように、PrimaryステーションとComplementaryステーションから構成されます。北極、南北中緯度、赤道域にそれぞれ1つのPrimaryステーション(ステーション群)を展開し、経度方向等の空白を埋めるためにComplementaryステーションを展開することがNDSCの基本的な考え方です。Primaryステーションでは、ドブソン/ブリューワー分光計、オゾンゾンデ、オゾン/気温/エアロゾルライダー、FTIR、オゾン/一酸化塩素(CIO)/水蒸気/一酸化二窒素(N₂O)マイクロ波分光計、UV/可視分光計などの測器をすべて備え2太陽周期ほどの期間観測を継続することが要請されています。Complementaryステーションでは、上記のうちの全部または一部の測器を備え、長期または一定期間観測することが要請されています。これの点を除けば、すべてのステーションの権利・義務に違いはありません。

下記ホームページ上にあるデータプロトコルの下で、NDSCデータは一般研究者による研究利用が可能です。

<http://www.ndsc.ncep.noaa.gov/>

なお、現在の議長はNASA本部のMichael J.



第1図 NDSCのサイトマップ (2001年5月20日現在).

Kurylo氏とベルギーのLiege大学のRudolphe J. Zander氏です。日本での現在の委員は国立環境研究所の中根英昭氏です。

謝辞

本文の作成にあたり情報を提供して頂いた中根英昭氏にこの場を借りて感謝いたします。また、NDSC サイトマップはKurylo, Zander両氏の使用許諾を得て、

Kathy A. Wolfe 秘書を通じて提供されました。

参考文献

Chipperfield, M. P. and P. A. Newman, 2001 : Public access to the Network for the Detection of Stratospheric Change database, Stratospheric Processes and their Role in Climate (SPARC) newsletter No. 16, 25-26.